

魅力いっぱい!沼津市

ぬまづ暮らし

LIVING IN NUMAZU

ぬまづ暮らしを
これから始める皆様へ

沼津に移り住んだ 家族の物語

都会と田舎のいいとこ取り!
魅力たっぷり!沼津らいふ
まちぐるみで応援します!
沼津市の取り組みをご紹介します!



お問い合わせ

沼津市 企画部 政策企画課
移住定住相談室

〒410-8601 静岡県沼津市御幸町16番1号
TEL.055-934-4813(直通) FAX.055-934-5011
E-mail iju@city.numazu.lg.jp

沼津市移住・定住ポータルサイト
「ぬまづ暮らし」

<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/iju/index.htm>

新幹線通勤ができるまち

沼津がくれた親子のふれあい



Profile

諏訪部 智人さん ☒ 子育て中
 展子さん ☒ 首都圏通勤
 花怜ちゃん ☒ 市内通勤
 碧生くん ☒ 市街地エリア
 百花ちゃん

ご主人の転職に伴って沼津への移住を果たした諏訪部さんご一家。
 ふたたびの東京通勤も、新幹線通勤でラクラクと。

ご主人智人さんと奥様展子さんの出会いは、お二人の勤務先である株式会社明電舎。ともに東京の職場で勤務されていましたが、ご主人に沼津への転職が決まり、お二人して初めてここ沼津の地を踏みしました。

ご主人は大阪のご出身、かたや奥様は札幌のご出身と、初めての地域への移住についてはお二人ともまったく違和感を感じなかったと言います。

「ここは山も海もあって、とにかく自然環境がいいですね。それ以前からのびのびと子育てをしたいと思っていたので、暮らす場所としての沼津への好感は二人とも共通していました」

沼津への転職が決まった時、長女の花怜ちゃんはまだ2歳の保育園児、長男の碧生くんが生後1カ月。沼津での保育園さがしから転居の準備が始まりましたが、想像以上に苦労がなかったと奥様。「今は待機児童の問題などもあって、保育

園を確保できるか?また、もし見つかったとしても自宅や勤務先から遠い園だったらどうしよう?と思っていたのですが、その心配はまったくの杞憂で、何のストレスもなくスムーズに転園ができました」

その後、次女の百花ちゃんのご誕生。家族5人でのにぎやかな暮らしが始まりましたが、家族がふえてそれまでのアパートもいよいよ手狭になり、ついにマイホームづくりへと歩を進めたのだそうです。

実はその時ご主人には、沼津からふたたび東京への転職という可能性もあったのだそう。「でもこんな穏やかな街で暮らしてしまうと、家族全員で東京に移ろうとはとても思えなくて、もし転職が決まったら自分だけ新幹線で通勤すればいいと、考えは自然にそういう方向に向きましたね」

沼津市内の中でも高台の岡宮地区を新居として選んだ決め手は見晴らしの良さと将来の発展性。「この辺りは富士山と駿河湾を見渡せる

素晴らしい景観がある上に、交通の便も良く、今後が楽しいエリア。私たちと同じ子育て世代の家族がますますふえれば、この子たちもたくさんの友だちが得られますよね」と奥様。

諏訪部さんご一家が沼津で見つけ、そして築き始めたゆとりに満ちた暮らし。「この暮らしが送れるのも、東京近郊から通勤するより早く楽な新幹線通勤を会社が認めてくれているおかげ。そこには感謝しかないですね」



子育てがのびのびできる沼津の住み心地に感動。

都会から人がわざわざ訪れる街での暮らし。
 街のにぎわいと自然のちょうどいいバランスの中で、
 ココロの贅沢を味わっています。

大学進学のため上京し、その後就職した洋菓子店で料理の面白さと奥深さに目覚めたという沼津出身のご主人、塩川さん。パティシエを皮切りにシチリア料理の修行を重ね、やがて東京で念願だった自分のお店『ベイカーズ ダズン』を立ち上げました。

大学進学の際に「いつかは地元で…」と漠然と考えていたというご主人が、2年半ほど前にこのお店を地元沼津に移転開業。それが新たな人生のスタートになりました。

東京で出逢って結婚された奥様も、首都圏をあちこちと移り住む転勤族だったため、初めて「自分の居場所」「本拠地」ができると大賛成。実際に沼津に来てからも東京当時の友人やお客さんも切れ目なく訪れてくれることから「寂しいと

感じたこともない」とのこと。

「みんなで街を盛り上げようとしている、仲見世やあげつち商店街の雰囲気も、とても気に入っているんですよ」という奥様。

東京からさほど遠くない上に、みんながわざわざお金と時間を使って遊びに来るような地域に住んでいることそのものを、とても贅沢なことだと実感する毎日なのだそうです。

お二人のお子さまを育児中の奥様に、子育て環境についてお聞きすると「都内では待機児童問題で本当に悩まされました。やっと見つけた託児所も小さなマンションの一室で、運動会さえその室内だったんですよ。ところが沼津に来たら、いろんな幼稚園がごぞって園児募集をしているじゃないですか!どこか違う国に来たんじゃないかと思いましたよ」と笑います。

「やっぱり自分が育った環境で、自分の子を育てたいという気持ちは誰しもあると思うんですよ」

Profile

塩川 雅也さん ☒ 東京から移住
 千晶さん ☒ 子育て世帯
 慶典くん ☒ 飲食店経営
 雄二郎くん



とご主人。自然いっぱいの環境でのびのびと子育てをしたいと常々思っていたというご夫婦が理想としていた子育てができているそうです。

「パティシエが作る港町のイタリアン」がテーマの『ベイカーズ ダズン』に併設して、この6月にはケーキショップも立ち上げたご夫婦。充実した忙しい日々を送りながらも、二人のお子さまと一緒に、家族で過ごせる楽しく快適な日々を大切に味わっていらっしゃいました。



諏訪部さんの一日に密着！

a.m. 6:40 今日がんばろう!



子どもたちと奥様に見送られてご自宅を出発。「行ってきます」

a.m. 7:16

新幹線で東京方面へ

朝の新幹線は混雑もなし。ゆったり座って一路品川へ。奥様も百花ちゃんを保育園に送り、明電舎・沼津事業所に出勤。



a.m. 8:16 さあ一日の始まりです
 品川で乗り換えて五反田の職場で仕事の始まり。

p.m. 6:00 今日もお疲れさまでした

退社が少し遅くなっても座って帰れるから翌日も疲れ知らず。奥様も保育園へお迎えの後、帰宅して夕食の準備。

p.m. 7:30 パパお帰りなさい!

子どもたちの笑顔に迎えられ、温かい食事が待っている我が家へ。



東京と沼津の2拠点勤務

理想のワークスタイルが叶うまち



Profile

飯塚 昌樹さん ☒ 子育て中
理恵さん ☒ 自宅中心のお仕事
博樹くん ☒
実樹ちゃん ☒ 丘陵地エリア

夜って本来、こんなに静かなんだ。

東京から沼津に移り、夜が心から安らげる時間となりました。



東京でお仕事をされていたご主人昌樹さんが、ご自身の地元である沼津市にUターンされたのが平成17年のこと。現在は東京に本部を持つWEB関連会社の役員として、ご実家をご自身の会社の沼津事務所とされ、主に在宅でお仕事をされています。

「もともと30歳になったら地元に戻ろうと思っていましたので、ライフプランとしては予定通りなんです。ただ、ちょうど妻が長男を身ごもっていたタイミングになっちゃいまして(笑)」と昌樹さん。奥様はさぞ大変だったのでは?とお聞きすると「しかも引越しが私の入院期間になってしまったんですよ。ですから私は東京で通院し、実家のある愛媛の松山で入院、退院して沼津へというわけなんです(笑)」とお笑いになります。

見知った地元なので新生活には何の心配もなかったというご主人。奥様も、転居のタイミングには驚いたものの、まちと自然とが程よいバランスを保っている沼津に、出身地である愛媛の松山との共通点を見出してすぐに慣れることができましたとおっしゃいます。

「でも、ひとつだけ本当に驚いたことがあるんで

す。それが富士山!実際に身近で見るとこれほどの存在感があるんだ!と、衝撃的でしたね」

奥様にも増して奥様のご実家の皆様も、沼津に訪れる度に富士山に魅せられているのだそう。

「地元の人が方がむしろその凄さに気づかないんですよ。私も地元に戻って初めて、こうして富士山が身近にあること、そして東京とは違って夜が本来のくつろぎの時間であることに、改めて感じ入っているんです」とはご主人。

そんな飯塚ファミリーの最大の楽しみは、お子さまとのバスケットボール。長男の博樹くんがバスケットボールを始めたのをきっかけに、どうせなら親子で一緒に楽しめるチームをつくろうと、飯塚さんとご友人の二つの家族で「灼熱白銀バスケットボールクラブ」を結成したところ、その趣旨に賛同した地元の親子たちが瞬く間に集まって、発足以来わずか2年間で総勢60人を超えるクラブになったのだそうです。

「少子化の影響で、今の子は、違う年齢の友だちをほとんど持っていないんですが、このクラブは下は幼稚園から上は中学生まで、幅広い年齢の子どもたちが集まっていますから、子どもが貴重なネットワークをつくれる場所になっているんです。そしてもちろん、私たち親もね」

このクラブ内には「パパ会」「ママ会」「子ども会」という集いがあり、それぞれパパ同士、ママ同士で様々な懇親イベントを開催されているのだとか。

「週2日の練習と、そこから生まれた交流が、今

のわが家のライフサイクルの中心ですね」

ゆとりある時間、そして充実した交流の輪。飯塚さんファミリーは、その喜びを心から満喫しているらしやいました。



Profile

大石 涼太さん ☒ 新婚家庭
千春さん ☒ 市街地在住
☒ 「ラブライブ!」ファン

沼津出身のご主人と秋田市内在住の奥様が、共通の趣味を通じてサイトで知り合ったのがおよそ10年前のこと。それ以来、遠距離恋愛で時間をかけてお互いの理解を深め、昨年結婚を機に奥様が沼津に移住・同居されました。結婚に際しては沼津あげつち商店街振興組合が企画した「ラブライブ!サンシャイン!!」の婚姻届を、沼津市に提出した第1号として、大きな話題にもなりました。

「結婚に際して、何か記念になるものがほしかったので、その意味でも嬉しいですね」とご主人。お二人ともこの作品の大ファンなので、『アニメの聖地』に住めるという経験を貴重なものだと感じているそうです。

以前から沼津市民として市の人口減少が気にかかっていたというご主人。「今はラブライブの人気などもあり、街に賑わいが生まれてきていますね。私も仕事柄、旅行者の方々や接することが多いので、沼津のいい所を紹介したりする傍ら、盛り上がり肌で実感しています。そんな中、結婚を機に自分自身も街を元気にすることに貢献できることがとても嬉しいです」。

大好きな作品の聖地を、ふるさとに。



生まれも育ちも違う二人を結びつけた「物語」。

その舞台で、暮らしの時間を共有できる喜びがあります。

秋田から沼津に来た奥様に沼津に来てみての印象をお聞きすると、まず人が多いことに驚いたと言います。「市内のどこに行ってもたくさんの人であふれているんですよ」。

そして沼津ならではの穏やかな気候と居住環境の快適さにもビックリしたそう。「北国の秋田では冬は冬よりとした日が多いんですが、沼津に来たら冬でもほとんど晴天で、太陽が燦々と照らしていることに驚きました」。

「沼津に来てはじめて、海辺を散歩しました」という奥様。秋田にいる頃は、気候のせいもあって、家と職場と買い物以外にはほとんど外出することもなかったそうですが、沼津には身の回りにいろんな楽しみがあるので、休みの日に「今日はどこに出かけようか」「あそこに遊びに行きたい!」という気持ちでどんどん大きくなってきていると言います。

遠い地に来て馴染めるかどうかだけが唯一の不安だったという奥様。穏やかな住み心地の中で、そんな不安もふと気づくとすっかり心の中から消えていたそうです。



大家族が一つの家で暮らす。
その夢が現実に。



毎日の暮らしから店の個性づくりまで、
地域の方との深いつながりから、
深瀬家の戸田ライフが始まりました。

Profile

深瀬 諒さん ☒ 大家族
☒ 戸田地区在住
☒ 飲食店経営

とはいえ都会から初めての街に移り住むことについての不安がまったくなかったわけではありません。「もちろん周囲の人々に自然に溶け込めるように、という気構えを持って来ましたよ」という深瀬さん。しかし実際に暮らしをスタートしてみると「自分が溶け込もう!と気張っているうちに、周囲の皆さんがわが家を自然に地域に溶け込ませてくれたんです」と振り返ります。

都会では隣に住んでいる人の顔を知らなくても生活になんの支障もありますが、戸田に住んでみて、実はその方が不自然だと実感するようになったという深瀬さん。

「ふかっちえ」で提供する深海魚はさほど市場に出回るものでもないで、港で仕事を手伝ったりしながら漁師の方々と親しくなることで、深海魚の種類やその美味しさなどいろんなことを教えてもらいました。その交流の中から魚介類の仕入れも軌道に乗ってきたのだと言います。

人との出会いとつながりの中で紡ぎ出されてきた、深瀬家の戸田スタイル。

お店を最良にしてくれているたくさんのお客様のためにも「これまで以上の美味しさを提供したい」と、深瀬さん独自の工夫を凝らして今日もオリジナルの味わいを創りあげています。

「戸田の手長エビのサラダ」



県外出身の夫婦とも、
沼津ライフに大満足。

Profile

寺本 達哉さん ☒ ご夫婦とも
美由樹さん ☒ 県外出身
帆花ちゃん ☒ 子育て世帯
☒ 市内企業勤務

ご主人は京都市伏見区のご出身。京都府内の大学で建築を学んだ後、卒業後建設会社への就職を機に沼津にいられてから今日まで10年を過ごしています。三重県鈴鹿市出身の奥様とは同じ職場で出逢ってご結婚。先頃誕生した帆花ちゃんとの家族3人で沼津暮らしを満喫しています。

京都に住んでいた頃から町屋をはじめとする伝統的な建築に興味があったというご主人。いつかはこうした建築物を手がけてみたいとの夢を抱きながら、さまざまな建築物の現場監督、兼大工さんとして日々お仕事に情熱を傾けています。

沼津に来てからウインドサーフィンを趣味としたご主人は、和歌山や琵琶湖などにもよく出かけていましたが、今では四季を問わずいつも家に近い牛臥の海などに出てウインドサーフィンを楽しんでいるそうです。

そんなご主人のライフスタイルを反映して、ご家族も夏になると毎週のようにビーチに出かけているため、帆花ちゃんもすっかり海が馴染み。「海が間近にある沼津は思い立った時

仕事も、趣味も、子育ても。

のびやかな環境の中で、楽しみながら暮らせる日々を満喫しています。

にすぐにいろんなビーチを選んで出かけられるし、しかもどこに行っても海の美しさ、水の透明感が満喫できるのが嬉しいですね」とご夫婦で口を揃えます。

沼津に来てからは、自然の多さや海のある街ならではの大きな開放感、そして快適な住み心地に驚いたというお二人。特に盆地の京都出身のご主人はその思いが強かったようです。

帆花ちゃんが生まれてからは、さらに子育ての面でも沼津の良さを再認識しているというご夫婦。「のびやかな環境ももちろんですが、医療費の面でも18歳まで無料ですからさらに安心できますよね」。

良好な自然環境と住み心地、そして大きな安心感を胸に、寺本さんファミリーの沼津ライフへの夢は、これからますます広がっていきそうです。



スタート！ ぬまづ暮らし

富士山と駿河湾にいだかれた風光明媚な静岡県沼津市。
自然と歴史、そしてあたたかな人々が暮らすまちです。
里山・里海を感じられる自然がたくさんの環境と、
東西のアクセスも至便、市街地でのまちなか暮らしも充実。
田舎暮らしも都市機能も、どちらも両立できる恵まれた立地も魅力です。
自宅の窓から富士山がみえるまち、それが沼津市です。



子育て世帯にも
優しいまち！



気候も人も
あたたかいまち！

首都圏への通勤も
実現できるまち！

田舎暮らしも
魅力的なまち！



沼津市は東京とのアクセスも良好！ 富士山も近く、自然と都市部の機能が両立する都市です。

東部・伊豆エリア

静岡県



静岡県富士山世界遺産センター
富士山を多角的に紹介

世界文化遺産
富士山 (3776m)

富士宮市

御殿場市

富士市

沼津市

裾野市

長泉町

三島市

熱海市

熱海

初島

伊豆の国市

伊豆ペロドローム
(日本サイクルスポーツセンター内)

伊豆市

伊東市

西伊豆町

東伊豆町

河津町

松崎町

下田市



ららぽーと沼津
2019年10月4日OPEN(約214店舗)

駿河湾フェリー
(県道223号線)
海から富士山を眺望

駿河湾

「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟
日本一深い湾(最深部2,500m)

静岡

駿河区

藤枝市

焼津市

吉田町

牧之原市

アクセス

空港(三島駅から)

■ 富士山静岡空港(無料駐車場あり)	
新幹線 + バス	1時間24分
高速道路	1時間28分
■ 羽田空港	
新幹線 + 京急	1時間12分
■ 成田空港	
新幹線 + 京成特急	1時間48分

高速道路(東京ICまで)

■ 長泉沼津IC から	
新東名 + 東名	66分
■ 沼津IC から	
東名	67分

高速バス(新宿駅まで※一部東京駅)

■ 沼津 駅 から	2時間29分
(長泉・裾野経由)	

※この他、東名ハイウェイなども運行



富士山反射炉 世界文化遺産
「明治日本の産業革命遺産」構成資産

ぬまづ暮らしは 魅力たっぷり!

「ぬまづ暮らし(ぬまづぐらし)」とは・・・

- ①海と山へ車で10分、水と空気が澄んだ便利な都市的暮らし。
- ②コンビニやスーパーがある、生活に困らない田舎暮らし。

東京-沼津 最速54分!

東海道本線、東海道新幹線の鉄道や東名高速道路など、東西のアクセスが快適!

見てのとおり
すぐ近く

東京

静岡県

静岡市

浜松市

沼津市

休日満喫!

海越しの富士山という
絶景を眺めながらの
潮風サイクリング!

おいしいものがたくさん!

海の幸や山の幸。
沼津にはおいしいものが
たくさん!

ぬまづの宝100選!

市民の投票などで選ばれた地
域資源。詳しくはパンフレットや
HPをご覧ください。
Youtubeでも紹介しています。

日本一 標高差6,000mの豊富な資源!



市街地の主な施設

- | | |
|--------------------------------------|---|
| ①沼津市役所 | ⑨沼津市民体育館 |
| ②沼津警察署 | ⑩サンウェルぬまづ
(ぬまづ健康福祉プラザ)
沼津夜間救急医療センター |
| ③沼津市立病院 | ⑪千本松原(千本浜公園) |
| ④沼津市民文化センター | ⑫沼津港深海水族館 |
| ⑤沼津市立図書館 | ⑬沼津市高齢者等
福祉世代交流活動施設
(千本プラザ) |
| ⑥ふじのくに千本松
フォーラム
(愛称: プラサ ヴェルデ) | ⑭沼津ラクーンよしもと劇場 |
| ⑦沼津商工会議所 | ⑮ららぽーと沼津 |
| ⑧青少年教育センター | |

その他沼津市の施設

- | | |
|-----------|------|
| ●市立保育園 | 7園 |
| ●私立保育園 | 22園 |
| ●市立幼稚園 | 2園 |
| ●私立幼稚園 | 14園 |
| ●私立認定こども園 | 8園 |
| ●児童クラブ | 35カ所 |
| ●市立小学校 | 24校 |
| ●私立小学校 | 1校 |
| ●市立中学校 | 18校 |
| ●私立中学校 | 1校 |
| ●県立高等学校 | 4校 |
| ●市立高等学校 | 1校 |
| ●私立高等学校 | 6校 |
| ●高等専門学校 | 1校 |
| ●専門学校 | 5校 |
| ●特別支援学校 | 4校 |

様々な趣味・レジャーが楽しめるのも、沼津市の魅力!

山でできること

★近傍にゴルフ場が 10カ所以上!

休日には、近距離だからこそ楽々早朝
プレーが楽しめます。朝陽を浴びる鮮や
かなグリーンを快適ラウンド。お仕事帰
りに市内の練習場で腕を磨いちゃいま
しょう。

★気軽に登頂できる山々。

お昼は山頂でおにぎり。週末ハイキン
グでリフレッシュ。



まちなかでできること

★沼津には よしもと劇場がある!

静岡県唯一のよしもと常設劇場。気が
向いたらよしもと芸人によるお笑いラ
イブへ。

★まちなかを流れる 狩野川沿いは 愛好家がたくさん。

朝早くにご夫婦で犬の散歩、完走後に
ケーキを食べるスイーツランから本格的
なマラソン大会まで。
バーベキューをしたり、特設ステージでの
ライブに魅了されたり。



海でできること

★浜、磯、港バリエーション 豊かな楽しい海岸線!

お仕事帰りに釣りなら一年中でできます
よ。夏には海水浴。春秋には浜辺で読
書やお昼寝する方も。冬は冠雪した富
士山とのコラボレーションにシャッターを
切る写真愛好家に喜ばれる季節です。

★深海魚のまち!

まちなか近くには沼津港深海水族館。
戸田ではおいしい深海魚を食べられま
すし、世界でも珍しい「深海魚撮影会」
「深海魚の詰め放題」なんても開催
してますよ。



ぬまづ暮らし 実現への道のり

01

まずは「どんな暮らし」をしたいのかをイメージ！

- 市街地暮らしで、東京に通勤
- 海のそばで田舎暮らしを満喫
- 自然の中で、子育てしたい！
- 定年後の趣味を楽しみたい
- 海が見えるカフェをオープンさせたい
- 本格的に農業にチャレンジしたい etc...



02

情報を集めましょう！

- 沼津市ホームページで情報収集
- 静岡県公式移住・定住情報サイトで情報収集

03

沼津市を訪れてみましょう！

- エリアごとの特徴を調べてみる
- 駅からの距離などを確かめてみる
- 季節を変えて行ってみる etc...



04

仕事や住む場所を決めましょう！



ぬまづ暮らしを実現！

ぬまづ暮らし Q&A

沼津市への移住を考えているけど、わからないことがいっぱい！
疑問に思っていること、知りたいこと、ぬまづ暮らしのためのヒント集。

Q

沼津市には、子育て世代に向けたどんなサポートがありますか？

A

沼津市は安心して子育てできる環境が充実。下記の他にも様々なサポート制度があります。

【保育料の軽減&無償化!】

幼稚園・保育園・認定こども園等の保育料について
子どもが3人以上いる世帯には、軽減措置があります。
第2子は半額、第3子以降はすべて無償化しています。

【役立つ「子育て情報」を発信!】

「沼津市子育てポータルサイト」や
モバイルサイト「ぬまづ子育て応援団」で、
沼津市で導入されているさまざまな子育て施策や情報などを
発信しています。

【こども医療費が無料!】

0歳から高校3年生相当年齢まで、
通院、入院とも無料です。

【安心して妊娠・出産できる環境を整備!】

母子保健コーディネーターがいる
「マミーズほっとステーションぬまづ」が、
妊娠から出産後までをトータルに支援しています。

Q

主な交通機関とアクセスの快適度は？

A

JR東海道新幹線・東海道本線の他、周辺には中伊豆を縦断する伊豆箱根鉄道などがあります。また、沼津市は東名高速道路・新東名高速道路に加え、日本の大幹線である国道1号が市中心部を貫くなど交通の要衝としても知られ、首都圏を初め他県からのアクセスも良好です。

Q

沼津市に行ったことがありません。

A

市職員とタクシーに乗り、市内を循環する制度があります。沼津市の雰囲気を体感できますので、興味のある方はご連絡ください。

※制度についての詳細は次ページをご覧ください。

Q

子どもの園・学校選びに困りませんか？

A

沼津市内には53園の幼稚園・保育園・認定こども園、25校の小学校、19校の中学校がありますので、お住まいの地域を問わず、生活圏内で園や学校を探すことができます。

Q

市外や首都圏への通勤は可能ですか？

A

もちろん可能です。現在でも沼津市外へ通勤・通学している市民の方がたくさんいます。東京への通勤に主に使用される新幹線の三島駅へは、沼津駅から東海道本線でわずか5分と、毎日の通勤もラクラクです。

Q

地域の人となじむコツを教えてください！

A

沼津市はその温暖な気候からか、温かく世話好きな人が多いのが特徴ですので、遠慮せずぜひ気軽に挨拶したり声をかけたりしてみましょう。きっとすぐに打ち解けて良き隣人として、心強い味方になってくれるはずです。

ぬまづ暮らし 沼津市の取り組み

沼津市の政策についてご紹介します。

移住のサポートや、普段の生活において市民の皆様に向けた様々な政策・制度があります。



●移住・就業支援金 最大100万円の支援金

東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)から沼津市に移住して、静岡県マッチングサイトを通じて就業、または静岡県が実施する支援事業を受けて起業した方に、移住・就業支援金として、最大100万円を支給します。



●若者世代住宅取得促進事業 最大150万円の奨励金

沼津市に転入する40歳未満の世帯に対し、住宅取得に係る奨励金を最大150万円交付します。
※令和元年度で事業を終了します。(予算に限りあり)

●スマイミー静岡

宅建協会会員業者による情報提供

住まいの情報や、住まい探しの情報を紹介しています。

スマイミー静岡

検 索

●いなかぐらし(戸田地区の不動産)

沼津市商工会戸田支所による情報提供

海のそばの「いなかぐらし」が楽しめる戸田地区の不動産情報を紹介しています。

沼津市商工会 いなかぐらし

検 索



●幼稚園・保育園・ 認定こども園等の保育料 多くの子育てを支援

幼稚園・保育園・認定こども園等の保育料について、
幼保無償化の対象外となる0～2歳児についても
市独自の軽減により、子どもが3人以上いる全ての世帯の
第2子を半額、第3子以降を無償化しています。

●沼津市子育てポータルサイト 多様な子育て情報を発信

沼津市における多様な子育て施策や情報を発信しています。

沼津市子育てポータルサイト

検 索

●マミーズほっとステーションぬまづ 妊娠から出産後までをトータルにサポート

専属の母子保健コーディネーターが相談に応じます。関係機関とのネットワークによる支援やケア事業により、妊娠から出産後までをトータルに支援しています。



●こども医療費助成

こども医療費は、0歳から高校3年生相当年齢まで
通院、入院とも無料です。

●沼津市立病院など 充実した医療体制

沼津市には、急性期医療を担う地域の中核病院として、公立の市立病院があります。
また、市内にはおよそ130カ所の病院及び診療所、近隣には「静岡がんセンター」もあり、
医療環境が充実しています。

●夜間救急医療センター 時間外の急病にも安心

沼津市には、夜間救急医療センターがあります。時間外に急病になられたときでも安心な救急医療体制を整えております。



●言語・英語教育の推進 特色ある沼津の教育①

平成18年3月から沼津市独自の取り組みとして、全小中学校において、「読解の時間」と「英語の時間」からなる「言語科」を実施し、言葉を用いて積極的に人とのかかわっていこうとする態度を育成しています。特に、小学校1年生からの外国語活動の実施や中学校全学年を対象に英検3級検定料の補助を行うなど、英語教育に力を入れ、国際力を豊かにする教育に取り組んでいます。



●「チーム学校」の推進 特色ある沼津の教育②

小学校1年生全学級への重点的な支援員の配置や地域人材の活用等、チームとして学校を支える体制を整え、教師が子どもと向き合う時間を拡大していきます。

●小中一貫教育の推進 特色ある沼津の教育③

9年間で子どもを育てるとともに、地域との更なる連携を図る、小中一貫教育の推進に全中学校区で取り組んでいます。



●沼津における 起業を支援

起業創業支援機関(沼津地域中小企業支援センター等)を設け、アドバイザー・コーディネーターによるきめ細やかな支援を行っています。

●農業次世代人材投資資金 市内で就農する方をサポート

50歳未満で独立・自営就農などの条件を満たす方に対して最大5年間交付いたします。

●沼津しごと応援サイト「ぬまjob」 沼津市による情報提供

沼津市内で就職したい方のための情報発信をしています。

ぬまjob

検 索



●エコのまち沼津 環境にやさしいまちづくり

フリーマーケットフェスティバルや子供服交換会の開催など、モノを大切にすることを育むとともに、子育て世代の交流にも取り組んでいます。

●ぬまづのおいしい水道水 安全で安心な水

沼津市の泉水源地がある柿田川湧水は、東洋一の湧水量(1日当たり約100万トン)を誇ります。
また、日本国内でも貴重な湧水群として、「近代水道百選(昭和60年厚生省)」や「日本の名水百選(昭和60年環境庁)」に選定され、安全で安心な「ぬまづのおいしい水道水」を毎日飲むことができます。

●市内無料タクシー案内

沼津市に訪れた市外在住の移住希望者に対し、タクシー事業者と連携した市内案内を無料で行います。沼津市の移住担当者が、まちなかから田舎暮らしまで自身の経験を交えながら、みなさまを気になるスポットへご案内します。

●ぬまづ暮らしの魅力発信 沼津の魅力を紹介

多様なライフスタイルを送ることができる「ぬまづ暮らし」の魅力を紹介しています。
住む人がこのまちに愛着を持ってもらう取り組みを進めています。

ぬまづ暮らし

検 索



ぬまづ暮らし イベントカレンダー

沼津市には一年中楽しめるイベントが盛りだくさん！

1月 江戸の水祝儀

●1月初旬



江戸時代中期から連綿と受け継がれた伝統行事。新婚の若者がお神酒を交わし、伝統の踊りとかけ水で祝福します。(県・無形民俗文化財指定)

千本浜元旦水泳大会

●元旦

新しい年の始めを祝って、1年の健康を祈願する寒中水泳！富士山が見える美しい海を舞台に、みんなで元気に泳ぎましょう！



2月 観梅茶席

●2月～3月上旬の土・日

約140本の梅の見頃に合わせて沼津御用邸記念公園で行われる催し。抹茶や和菓子と一緒に、満開の梅で日本情緒を満喫しましょう。

3月 我入道の渡し船

●3月下旬～5月・7月中旬～下旬、9月中旬～11月の土・日・祝日

昭和40年代まで狩野川で運航されていた我入道の渡し船が、平成9年に復活。貴重な和船のやぐらの音をBGMに、水面からの富士山の絶景が楽しめます。



4月 大瀬まつり・内浦漁港祭

●4月4日



大瀬の漁師の例祭「大瀬まつり」は、漁の安全を祈願して女装した青年たちが満艦飾の漁船で踊る「勇み踊り」が名物の奇祭。内浦漁港祭も同時開催されます。

こいのぼりフェスティバル

●4月下旬～5月5日

沼津の上空に約400尾のこいのぼりが泳ぐ、春の一大イベント。5月4日・5日は親子イベントやステージイベントなど、多彩な催しが繰り広げられます。



5月 沼津水産祭

●5月

沼津の魚のおいしさや海の魅力をPRする水産祭。鮮魚の販売やアジの釣堀に、輪投げや魚の料理教室、セリ体験イベントなど、家族そろって楽しめるお祭りです。



ぬまづ港の街BAR

●5月

沼津港と商店街の食べ歩き飲み歩きイベント。腕によりをかけた各店舗の自慢のメニューをハンゴして、沼津の「食と音楽のお祭り」をお楽しみください。周辺では、JAZZの生演奏や大道芸も披露します。



6月 ぬまづ七夕まつり

●6月下旬～7月7日

中心市街地で開催される「ぬまづ七夕まつり」。中でも「仲見世商店街」では、色鮮やかな吹流しや短冊飾りが商店街アーケードを埋め尽くして盛大に繰り広げられます。



7月 戸田港まつり

●7月中旬

戸田の夏を彩る「戸田港まつり」。伝統の神事や舞台芸能、勇壮な黒潮太鼓など盛りだくさんの内容で開催されます。夜は約1000発の花火が戸田の夜空を彩ります。

沼津夏まつり 狩野川花火大会

●7月最終土・日

「沼津夏まつり」は沼津最大の催し。そのメインイベントが市街地での花火大会として東海地方随一の規模を誇る「狩野川花火大会」。2日間・約1万2千発もの花火が沼津の夏を盛り上げます。



8月 沼津で海水浴

市内には多くの海水浴場があり、家族連れで楽しむのに最適です。環境省の認定する「水質が特に良好な水浴場」にも選ばれており、綺麗な沼津の海で夏の思い出を作りませんか。



沼津ナイトマーケット

●8月上旬

沼津の夜のまちを満喫できる夜店市。様々なお店が工夫をこらしたテイクアウトメニューを、商店街の路上や狩野川沿いで、夜風を楽しみながら味わうことができます。



9月 沼津自慢フェスタ

●9月中旬



「沼津を美酒美食の街へ」を合言葉に、沼津とその近隣で活躍する生産者、料理人、バーテンダー、アーティストたちが力を結集。沼津ならではのおいしさを参加者全員で共有します。

10月 ライジングサンマフェスティバル

●10月

東日本大震災を契機に、炭火で焼いた1000尾のサンマをチャリティー販売し、被災地の復興を支援する催しです。

狩野川ローカルマーケット

●10月中旬

沼津市中心街と川の風景をつなぐ「風のテラス」を舞台空間として、沼津の山・里・海の味覚とその生産者たちが大集合する狩野川マーケットです。



11月 戸田さんさんまつり

●11月初旬

「静岡県東部B級グルメ」に加え、戸田名物の「戸田塩じえら」と「橘こめころーる」、「トロポッチのからあげ」など多数のお店が出店する、戸田の食の祭典です。



松籟の宴

●11月上旬～中旬

国の名勝に指定された沼津御用邸記念公園を舞台に、沼津が誇る「食」「歴史」「文化」などの資源を活かした催しを開催し、日本文化が息づく、気品溢れる沼津の魅力を発信します。



千本浜ファミリーマラソン

●11月中旬



駿河湾と千本松原越しの富士山という絶景パノラマの中を走る、千本浜防潮堤でのファミリーマラソン大会。健康マラソンの部と競走の部があります。

ぬまづパンまるしえ

●11月中旬

沼津市内外の選りすぐりのパン屋さんが市内中心部の商店街に集結。各店自慢のこだわりのパンの他、ママ作家さんたちの作品も集う、沼津最大のパン祭りです。

12月 沼津農村まつり

●12月中旬

地元の農林畜産物が一堂に集う沼津の食の祭典。地元産直の新鮮野菜の即売のほか、お茶の手もみ実演や試飲、地元高校生等によるステージアトラクション、大抽選会など、楽しみも満載。毎年大勢の来場者で賑わいます。



※開催日については例年の開催日を参考にしています。詳しくは「沼津観光ポータル」をご覧ください。